



令和2年度

事業計画書



社会福祉法人草津市社会福祉協議会

1. 基本方針

国の福祉推進の基本コンセプトは、「我が事・丸ごとの地域共生社会の実現」を位置づけ、社会福祉法等において住民に身近な圏域で、住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制づくりを進めるとされています。

その理念は、制度・分野の枠や、「支える側」「支えられる側」という従来の関係を越えて、人と人、人と社会がつながり、一人ひとりが生きがいや役割を持ち、助けあいながら暮らしていくことのできる包括的なコミュニティ、地域や社会を創るという考え方です。

この推進には、地域住民や町内会・自治会、地域まちづくり協議会や学区社会福祉協議会等の地域住民組織、民生委員・児童委員をはじめ地域の多様な関係者との連携体制を強化していく必要があります。

まさに、地域共生社会の実現に向けた取り組みは、従来から社協が目指してきた、また、地域で担ってきた役割や事業・活動を改めて確認し、その再構築やさらなる展開を図るため、多様な参加の機会や居場所を生み出せる地域関係者（産業分野、まちづくり分野など幅広い関係者）のコーディネートやプラットフォームとしての機能を、社協は発揮していく必要があります。

このような中、第3次地域福祉活動計画（5カ年計画）の4年目となる令和2年度は、次期計画のプロローグとなる取り組みを進め、地域における生活支援活動の強化を一層推進するとともに、協働のまちづくりの中間支援組織としての機能を発揮し、地域の課題や特性を住民の皆様とともに整理・共有して、課題解決に向けた住民主体の地域福祉活動をより一層推進し、地域支えあい活動や社会参加などの取り組みの強化に努めます。

また、経済的な困窮状態に陥っている方への生活福祉資金等の貸付や高齢化の進展に伴う地域福祉権利擁護事業の利用者の増加など、個別援助活動の充実に努めます。

これらの活動にかかる財源については、一般会費・賛助会費や寄附金、共同募金助成ですが、年々減少傾向にありますことから、既存事業の経費見直しを行うとともに、限られた財源を有効に活用するほか、財源確保に向け、地域住民の方々をはじめ企業、事業者などの協力が得られるよう取り組みを進めます。

さらには、市社協・学区社協が今日まで取り組んできた社協活動の総合力の向上に努めるため、まちづくり協議会や各種団体・関係福祉機関、行政などとの連携を強化し、「こころ温かく支えあい 住みつづけたい 福祉のまち・くさつ」の実現に向け積極的な事業推進に努めます。

2. 重点事業

①地域福祉活動推進支援

- ・みんなで作る地域共生社会の協議の場として、学区医療福祉を考える会議などを大切にし、住民主体の地域づくりを支援します。
- ・地域住民の抱える多様な生活課題を受け止め、地域を基盤にして解決につなげる支援やその仕組みづくりなど住民主体による福祉コミュニティづくりと住民活動の拡充に努めます。
- ・小地域における住民福祉活動の推進と活動拠点の設置促進に努めます。
- ・地域支えあい運送支援事業に新たに取り組む学区を応援し、車両の無償貸与をはじめとする立ち上げ支援に努めます。

②ボランティアセンターの機能強化

- ・第3回草津市福祉教養大学を開校し、地域福祉の担い手の育成に努めます。
- ・教養大学大学院生を募集し、実践型課題解決(自ら考え自ら試行)コースを設けます。
- ・傾聴ボランティア、点字ボランティア、フードバンク協力ボランティア、地域サロンボランティアなど多彩なボランティアの育成に努めるとともにボランティア活動の場の提供に努めます。
- ・ボランティアの交流と活動の場づくりとして、昨年度に引き続き、草津青年会議所、草津市コミュニティ事業団等と「緑波祭実行委員会」を組織し、プログラムの1つとして第9回ボランティアフェスティバルを開催します。

③身近な居場所づくり活動の推進

- ・地域で多様な人がつながる居場所づくり事業・活動を応援します。
- ・フードバンク事業を活用し、食を切り口とした地域づくりを応援します。
- ・歳末たすけあい募金の助成を受け、年末年始の子ども支援事業の拡充に努めます。
- ・高齢者地域サロンとく得バスツアーや交流会を通じてサロン間の情報交換や活動のメリハリづくりに努めます。
- ・善意銀行などを有効に機能させ、地域福祉活動を応援する財源の確保に努めます。

④県社協縁特別会員加入と新たな取り組みの推進

- ・生きづらさを抱える人が社会とつながる場づくりを検討します。

(1) 地域福祉活動の周知・啓発

見える社協、魅せる社協活動をめざして広報し、住民への啓発を行い、地域の福祉力アップを図ります。

(単位：千円)

事業・項目	内容	予算	財源
市社協広報紙「社協くさつ」発行	市社協事業をはじめ、ボランティア活動や「くさつ通信」など地域の福祉活動に着目した市社協広報紙「社協くさつ」を年4回発行し、市内の全世帯と賛助会員に配布することで、福祉の風土づくりを進めます。	2,197 180 77	会費 広告料 共募
市社協ホームページ運営	地域福祉活動について随時情報を発信し、より多くの方々に地域福祉活動に関心をもってもらえるよう、身近で見やすく、記事にたどり着きやすいホームページを目指します。 また、トピックスを活用し、ボランティアや地域の福祉活動の様子や行事予定など、より多くの参加と応援につながるような情報を提供します。	330	会費
社会福祉功労者等表彰式典	長年活躍されている地域福祉活動者やボランティア活動者、福祉活動を推進している学校等の功績を称え表彰します。また、社会福祉の向上のため寄附された個人や団体に感謝の意を表します。	303	会費
近所力アップ講座	地域に職員が出向き、より身近な福祉の専門職として、住民同士の日頃からのつながりの大切さを伝え、住民のみなさまとともに地域福祉活動の大切さを語りあいます。昨年度からメニューの拡大を行い、より市民が「聞きたい」と思えるような、市社協ならではの楽しい講座の周知啓発に努めます。	5	会費
市社協キャラクター「ふくちゃん」啓発	地域の各イベントへの着ぐるみ「ふくちゃん」の貸し出しを行い、市社協の啓発につなげます。また、窓口にふくちゃんグッズの販売コーナーをつくり、さらなる認知度アップを目指します。	15	会費
「広報くさつ」点字版作成・配付	視覚障害者への支援として、毎月1日号の「広報くさつ」の点字版を作成し、希望される人に配付します。	285	市受託
社会を明るくする運動	地域住民の犯罪防止と更生保護に対する一層の理解を深めるため、関係機関・団体・学校が協働して運動を展開します。	125	市受託

(2) 地域福祉力の向上

地域福祉力の向上と住民主体の地域福祉活動の発展のため、その基礎となる人づくり、またその人を支援する体制をつくりまします。

(単位：千円)

事業・項目	内容	予算	財源
草津市福祉教養大学の開催 (市民コーディネーター育成)	「心に訴え、誰もが聞いてみたい斬新なテーマ」の講座として、今まで福祉に興味がなかった市民に参加いただけるように、幅広い講師に講演いただき、地域の担い手不足と言われている現状を打破すべく、地域福祉活動者のすそ野を広げることを目的に、「福祉教養大学」を実施します。 また、卒業生を対象とした大学院を設立し、具体的活動へのカリキュラムを設定し、丁寧に地域の活躍の場へ草津市を愛する人材を送り届けまします。	670 180	市補助 受講料
福祉委員設置促進	「福祉委員の手引き」を用いて、学区社協との協働による学習会等を開催することで、福祉委員活動が活発に行われるよう支援まします。また、希望する学区に福祉委員委嘱状を交付し、円滑に活動できるよう支援まします。さらに、活動のヒントや自身のスキルアップの場として、草津市福祉教養大学の活用を促まします。	13	会費
介護予防サポーターポイント制度事業	元気な高齢者の社会参加といきがいつくりについて、市と連携しながら支援してまします。	2,954	市受託
地域サロン活動支援	高齢者の見守り活動の推進や、介護予防と自立を促進するため、サロン活動を行う者を育成するとともに、様々な相談に応じる地域サロン支援員を配置し、出前サロンの開催や地域サロンへの訪問活動などを通してさまざまな相談支援を行い、地域サロン活動の拡充をめざまします。	10,387	市補助
地域サロン交流会	地域サロンの横のつながりをつくるため、意見交換や情報交換を行い、地域サロン活動のさらなる活性化につなげまします。	113 45	市補助 参加費
とく・得バスツアー	バスツアーを実施し、外出機会を増やす支援や、サロン参加者同士の横のつながりづくりを行い、地域サロン活動の充実と活性化を図りまします。	138 288	市補助 参加費
地域支え合い運送支援	学区社協やまちづくり協議会が実施する移動困難者の運送支援事業を支援し、住民が主体的に取り組む支え合い活動が広がるよう支援してまします。 既存実施学区である、志津南学区、老上学区・老上西学区、山田学区の活動が継続していくよう、安全運転講習会等の開催などによりサポートまします。 また、今年度新たに開始される学区に対し、要綱やボランティアグループ立上げ等の支援を実施まします。	2,381	市補助

福祉車両貸出	外出が困難な高齢者や障害者のため、福祉車両を貸出し、受給調整を行います。 また、送迎ボランティアに安全講習を行い、安全運転の周知に努めます。 さらに、「社協くさつ」や関係団体・福祉関係者に事業を案内し、利用者拡大および送迎ボランティアの拡大に努めます。	1,634	会費
高齢者への電話訪問	65歳以上のひとり暮らし高齢者や昼間独居高齢者に対し、傾聴ボランティアが電話訪問することで孤立・孤独を防ぎます。また、傾聴ボランティアの育成を図るため、傾聴ボランティア養成講座を実施します。	116	善銀
草津フードバンクセンター	生活に困窮している世帯や住民同士の支え合い活動を実施する団体に対して、フードバンク協力ボランティアとともに食品のニーズを正確に把握し、草津フードバンクセンターに集まった食糧を無償で提供し、地域福祉活動推進の一助とします。 また、企業や個人にとっては、本事業への協力が社会貢献や地域福祉活動への参加・協力になるという積極的な広報活動を展開し、市民の協力を得られるようにしながら善意の循環システムを構築します。 さらに、出張フードドライブを実施し、市民により身近なところでの周知啓発、また事業協力を呼びかけます。	60 60	市補助 善銀
地域のふれあいの場づくり助成	学区社協を対象に、すべての人が住み慣れた地域で安心して暮らしつづけられるよう、新たな地域福祉活動の立ち上げ、そして既存の地域福祉活動の拡大・拡充を支援します。	300	ボラ基金
寝たきり・認知症予防助成	市老人クラブ連合会が実施する介護予防事業を支援します。	72	共募
障害児者介護者リフレッシュ支援	肢体不自由児者父母の会が中心となり実施する障害児者の家族の心身リフレッシュと介護者同士の交流・情報交換を支援します。	40	共募
知的障害者社会参加自立支援	草津手をつなぐ育成会が中心となり実施する共同作業所等で働く知的障害者の社会参加を促す交流や余暇活動を支援します。	40	共募
視覚障害児者支援	草津点字グループあゆみ会に情報紙の点訳を依頼し、視覚障害者への情報提供を行います。	6	共募
中途視覚障害者支援	市視覚障害者協会が実施する外出歩行訓練や交流会事業等を支援します。	8	共募
いきいきふれあい大運動会助成	市心身障害児者連絡協議会が実施する「いきいきふれあい大運動会」事業を支援します。	40	共募

子ども福祉活動助成	子どもの福祉活動を支援します。	53	共募
歳末子ども支援事業助成	年末年始時期に子ども等を対象にした事業を行う学区社協や住民主体のボランティア団体等に対して、支援金の助成を行います。	150	共募
福祉機器リサイクル (貸出事業)	不要になった福祉機器のリサイクルを促進するとともに、昨年度に改訂した要綱に基づき、市内および近隣市に住む一時的に車いす等を必要とする人に原則3カ月を限度に貸出します。	143	市受託
福祉活動用具貸出	地域サロンをはじめ地域福祉活動に活用できる用具を貸します。	75	市補助

(3) ボランティア活動の充実と住民参加の仕組みづくり

住民どうしがふれあい、いきいきと楽しく活動するボランティアの輪を広め、絆をつむぐことができる地域をつくりまします。

(単位：千円)

事業・項目	内容	予算	財源
ボランティアフェスティバル	昨年度に引き続き、草津青年会議所・草津市コミュニティ事業団等と「緑波祭実行委員会」を組織し、そのプログラムの1つとしてボランティアフェスティバルを開催します。イベントを通し、多世代がボランティア活動に参加するきっかけづくりや、活動者同士をはじめとした参加者のつながりをつくりまします。そして、社協活動を魅力的に広く市民へ伝えることを目的として、今年度は地域サロン交流会と合同で実施します。	348 392	市補助 会費
災害ボランティアセンター	災害ボランティア登録制度の周知・啓発を行い、有時のボランティア協力者を増やすとともに、災害ボランティアセンター運営協議会構成団体との連携を深め、有時における効果的なボランティア活動を推進できるよう運営訓練を実施し災害対応力の向上に努めます。また、三者協定に基づき、草津青年会議所の積極的な参画により、機能強化および訓練内容の充実を図るとともに、それぞれのネットワークを活かし、センターの取り組みの周知・啓発を行います。 さらに災害ボランティアセンター応援サポーターを募集し、養成研修を実施することで、災害ボランティアセンター運営の協力者を増やしていきます。	86 101	市補助 ボラ基金
収集ボランティア啓発	福祉に役立つ身近なボランティア活動である収集ボランティアを広めるため、裏面が封筒になるペーパークラフト仕様の啓発チラシを福祉教育やイベント時に配布します。また、地域や学校等へ啓発パネルを貸出し、周知・啓発を行います。	6	ボラ基金

ボランティア体験教室・ボランティアスクール	ボランティア活動や地域福祉活動の理解を広げるため、多彩なボランティア活動に触れてやってみる場としてボランティア体験教室を行います。 また、中高生等向けに、次世代の担い手づくりやボランティアの発掘を目的に、学校の授業では経験できない新しい視点を学び、地域福祉やボランティアを身近に感じられる夏のボランティアスクールを開催します。	82	ボラ基金
福祉教育の推進	福祉教育の推進として、「福祉教育・ボランティア学習のてびき」を作成し、子どもたちの福祉に対する考え方や豊かな心の育ちにつながるよう支援します。 また、子どもたちの福祉への理解をすすめる、学びを支援するために、福祉学習機材の貸出やボランティア派遣を行うとともに、「福祉教育・ボランティア学習のてびき」を作成し、より充実した学習につながるような支援を実施します。	31	ボラ基金
ボランティアグループリスト作成	ボランティア・地域サロングループリスト、出前ボランティア一覧を作成し、ボランティア団体の紹介と活動場所の拡大、地域サロンへの参加者増による活動の活性化を図ります。	55	ボラ基金
市ボランティア連絡協議会助成	ボランティアグループの横のつながりを強化し活動を広げるため、ボランティア連絡協議会活動を支援します。	48	共募
ボランティア連協加入促進	ボランティア連絡協議会の加入を促進するため、ボランティア活動保険料の一部を助成します。	70	ボラ基金
ボランティア団体活動助成	ボランティア活動の充実を図るため、ボランティアセンターに登録されたボランティアグループに活動助成を行います。	600	ボラ基金

(4) 住み慣れた地域で安心して暮らせる体制づくり

- ①学区社協活動をはじめとした地域福祉活動支援
 ②小地域福祉活動における民生委員・児童委員との連携
 ③ボランティアセンターの機能強化

(単位：千円)

事業・項目	内容	予算	財源
学区社協会長会	学区社協会長の情報交換や研修会等を実施し、福祉でまちづくりを推進する会議を年10回程度開催します。また、年に2回学区社協事務局長会議を開催し、学区社協事務局の支援体制の強化の支援を図ります。また、各学区の特徴や学区社協の活動状況をまとめた学区社協便覧を作成し、ホームページ等にも掲載することで、多くの方々に学区社協活動を啓発します。さらに、民間助成を継続的に案内し、助成申請にあたっての助言等を行うことで、学区社協活動の継続のための財源確保を支援します。	557	会費
地域福祉活動助成 学区社協運営支援	地域の支えあい活動を推進するため「福祉の土壌づくり」「活動の担い手づくり」「個別援助活動」「地域福祉関係者との交流」を進める学区社協を支援します。	3,640 1,050 1,750	共募 ボラ基金 会費
地域福祉コーディネーターによる学区社協支援	学区担当制を敷き、学区社協とともに各学区の地域課題を把握し、課題解決へ向けた地域福祉活動の推進を図ります。また、研修会等を通し、職員の地域福祉コーディネーターとしての資質の向上に努めます。	45,696 1,000	市補助 自主
地域福祉活動推進の支援強化	草津市地域福祉活動計画策定委員会を開催し、第3次草津市地域福祉活動計画の進捗確認の場として、今後の草津市での地域福祉の推進のあり方・市社協のさらなる事業展開等を検討します。 当年度は中間評価を踏まえ、新たな展開を実施し、また、第4次計画策定に向けての準備を行います。 さらに、すべての学区社協で懇談会を実施し、学区の声や特徴をとらえた支援ができるよう努めます。	199 199	会費 市補助
草津市民生委員児童委員協議会事務局	事務局担当の職員を配置し、毎月1回、総務会、必要に応じ総務委員会を開催します。また、5部会2委員会1連絡会をはじめとした民児協活動が活発に機能するように支援します。 さらに、学区担当制による情報提供やアドバイスを行うなど、個別援助活動が円滑にできるよう民生委員・児童委員活動を支援・協力します。	別途	別途
歳末たすけあい見舞金の配付	市内の準要保護世帯に、民生委員・児童委員と協力して見舞金を配付します。また、施設に入所や通所されている障害者に歳末時期に安心して暮らしてもらうため、障害者福祉施設、団体等へ見舞金を配付します。	6,185	共募

緊急食糧支援事業	一時的に支援が必要な世帯には緊急的な支援として食糧を支給します。	100	共募
ボランティアセンターの運営と啓発	ボランティア活動者拡大のため、ボランティアを始めたときにどこに行けるのか等が分かるようなボランティアセンター周知チラシを作成します。 また、ボランティアの周知・啓発を行うとともに、趣味や特技がボランティアにつながるきっかけづくりを進め、誰もが気軽にボランティア活動に参加できる仕組みをつくり、ボランティア活動における大切なポイントを丁寧に説明し、活動への参加・継続を支援します。	678	ボラ基金
ボランティア保険加入促進	市社協の窓口でボランティア登録をされる際に、また、市社協への来所が難しい方に対して出張窓口を設置するなど、ボランティア保険への加入を推奨します。	70	ボラ基金

(5) 個別援助活動の充実と市社協の基盤づくり

- ① 地域福祉権利擁護事業の充実
- ② 心配ごと相談・貸付事業の充実
- ③ 行政・専門機関、福祉専門職との連携強化
- ④ 役員体制と事務局体制の強化
- ⑤ 地域福祉活動推進に要する財源確保

(単位：千円)

事業・項目	内容	予算	財源
地域福祉権利擁護事業の推進	判断能力が充分でないため、毎日の暮らしのなかで福祉サービスの利用手続きや日常のお金の管理が不安な人が、地域で安心して生活を送れるように支援する地域福祉権利擁護事業の充実に努めます。特に、増加している困難ケースに対し、専門機関との密な連携・支援体制の整備を図り、より一層きめ細かな支援ができるよう努めます。 また、事業の周知啓発に努めるとともに、生活支援員のスキルアップのため、市社協での研修会の実施や、県社協実施の研修の受講案内を行います。	1,185 748 2,733 28	会費 市補助 県社協補助 利用料
心配ごと相談所開設と相談員連絡会の開催	住民の皆さんの身近な暮らしのなんでも相談窓口として「心配ごと相談所」を開設します。 さらに相談員どうしの情報交換を目的とした連絡会を開催し、スキルアップのための研修会も実施します。	893 830	会費 市補助
生活つなぎ資金貸付	一時的に生活困難に陥った世帯に生活のつなぎとして資金を貸付し、健康で安心できる生活の維持と自立の助長を図ります。	2,110	善銀

生活福祉資金貸付	経済的に困っている人に県社協の生活福祉資金の貸付相談や貸付手続きを行います。 また、民生委員・児童委員が実施する生活福祉資金貸付者に対する償還指導についても支援していきます。	2,708	県社協受託
生活支援体制整備事業 (地域支えあい推進員による学区支援)	地域における包括的な支え合い活動を推進するため、多様な活動団体・事業者等が連携・協議し、様々な日常生活上の支援体制づくりを進めるとともに、高齢者の社会参加の推進を図ります。 特に事業推進の核である「医療福祉を考える会議」について、市内全学区で取り組めるよう、行政・地域包括支援センターと密に連携し、実施学区への継続支援および未実施学区への立ち上げ支援を行います。	20,743	市受託
各種事業推進に係る関係機関との連携強化	貸付事業利用者や地域福祉権利擁護事業利用者等、暮らしに様々な困りごとを抱えた人たちを継続的に支援していくため、市くらしのサポートセンターや地域包括支援センター等の支援機関との連携強化を図ります。	-	-
第三者委員会の設置	市社協が実施する事業の信頼性の確保及び適正な事業実施を図るため、苦情解決の第三者委員会を設置します。	5	自主
理事会・評議員会の開催ならびに研修会の開催	理事会・評議員会を開催し、役員体制の強化および透明性のある組織運営を図ります。	1,018	自主
職員研修、職員会議の開催	人権意識の向上や地域福祉コーディネート力のスキルアップを目的に研修を実施します。また、事業の進捗状況を毎月確認しつつ草津市の地域福祉活動の展開や社会福祉の動向等を意見交換する場をつくるほか、権利擁護事業や貸付事業の担当者会議を開催するなど、職員同士の連携を図ります。	100	自主
滋賀県社会福祉協議会会費 滋賀県市町社会福祉協議会会長会費 湖南地域社会福祉連絡協議会会費 滋賀県社協縁特別会員会費	滋賀の地域福祉活動の推進と情報交換や役職員の研修の場として積極的に参加します。 また、新たに滋賀県社協の縁特別会員に市社協として加入します。	1,080	自主
地球温暖化防止推進	省エネに取り組み、ゴーヤカーテンをつくり、エコ意識を高めるとともに、クールビズ及びウォームビズ夏季および冬季の空調設備費用を抑える等、エコロジーとエコノミーの両立の取り組みを行います。	6	自主
共同募金（赤い羽根・歳末たすけあい）運動の推進	民間福祉事業の振興を図るために10月1日から12月31日まで、全国的に展開される「赤い羽根共同募金運動」を推進します。	別途 (市共同募金委員会)	別途 (市共同募金委員会)
赤十字事業の推進 (日本赤十字社滋賀県支部草津市地区事務局)	日本赤十字社の会員募集や赤十字活動の普及を図り、赤十字の活動を支える草津市赤十字奉仕団の活動を支援します。	別途	別途

社会福祉援助技術現場実習	社会福祉の専門家をめざす学生に、人材育成の一環として社会福祉士国家試験受験資格取得に必要な実習の場を提供します。	(収入) 85	自主
市社協会費の拡大	福祉でまちづくりに参画する仕組みである社協会員制度の理解を広げる取り組みをすすめます。特に賛助会員に対しては、新規会員になっていただけるよう、イベント等でつながりをもち、企業や施設に加入を呼びかけます。 ○一般会費 … 学区社協と連携し、世帯を単位にした社協への参画を促進します。 ○賛助会費 … 学区社協と連携し、企業を単位にした社協への参画を促進します。なお、賛助会費の内55%を学区社協へ助成します。	(収入) 一般会費 4,649 賛助会費 2,913	会費
善意銀行事業	生活つなぎ資金の貸付、高齢者への電話訪問事業、子どもの居場所づくり等地域福祉活動への支援を行うフードバンクセンター事業等の善意銀行事業について、広報紙やホームページだけでなく地域事業に出向く際にも啓発を行い、地域福祉活動を応援する財源として市民の善意の寄附金を積極的に募集するとともに有効に活用します。	(収入) 160	善銀
ボランティア基金の運用、寄附金の募集	ボランティアセンターの運営ならびに多様なボランティアや地域福祉活動の振興に努めるための寄附金の募集に努めます。現賛助会員に、年に一度程度寄附の案内を社協くさつ送付の際に同封するとともに、基金を有効に運用し、財源の確保に努めます。	(収入) 1,300 982	自主 ボラ基金
「社協くさつ」「ホームページ」有料広告の拡大	市社協広報紙「社協くさつ」およびホームページのバナー広告掲載の積極的な募集を行い、財源確保に努めます。	(収入) 190	自主
寄附付き名刺の発行	寄附金の増収および地域住民が気軽に参加・協力できる地域福祉の推進を図るため、企業が提供する名刺に対し一定の割合で企業等が売り上げの一部を当会に寄附する「寄附付き名刺」を発行します。	(収入) 3	自主
ふくちゃんグッズの販売	ふくちゃんグッズを市社協や地域の行事等で販売し、グッズを通しての市社協の啓発および財源の確保に努めます。	(収入) 30	自主

(6) 第3次草津市地域福祉活動計画の体系図

